

## 寄贈資料からみた帝国図書館と中国

土屋 紀義

### はじめに

国立国会図書館には、国内有数の中国語資料が所蔵されている。この膨大なコレクションができあがるにいたるまで、一世紀半に近い歴史があり、この間に数おおくの人々が、様々な形でコレクションの形成に関わってきた。1)

そのなかで、明治中期から、昭和戦前期にわたって、中国人、あるいは中国の機関・団体等から中国語資料が寄贈されてきた。これらの資料は、膨大な国立国会図書館所蔵中国語資料のなかでは、九牛の一毛といっても過言ではないささやかなものである。しかし、そのなかには、稀覯なもの、あるいは、重要なものが少なからず含まれている。その点で数が少ないからと言って無視することのできない意義があるといえよう。

その上、寄贈者の身元を確認することによって、また、関係者の来日の事情により、どのような機関から資料が寄贈されているかを見ることにより、その時々日本と中国との関係をかいま見るよすがとすることもできる。とりわけ中国の側から、日本がどのようにみえていたかの一端を知ることができるのである。

国立国会図書館収集部には、明治初期からの『図書原簿』が保存されている。これによって、各資料が、内務省交付本か、購入か、寄贈か、また購入・寄贈資料の場合、購入先・寄贈者がだれで、いつ『図書原簿』に記載されたかがわかる。

以下、中国からの寄贈資料を、『図書原簿』の記載順に列記し、寄贈者等について確認できたことがらを、必要に応じて付記する。各資料の書誌事項は、原則として、『国立国会図書館漢籍目録』(国立国会図書館 昭和62年)による。各項は、書誌事項・寄贈者・原簿への記載年月日からなる。

## 寄贈資料一覧 付寄贈者概観

- (1) 『寫定尚書』 吳汝綸校 1冊 光緒 18 桐城 吳氏家塾刊 吳汝綸寄贈 明治 35年 10月 3日
- (2) 『濱州風土記』 吳汝綸纂 8冊 光緒 26 文端書院刊 吳汝綸寄贈 明治 35年 10月 3日
- (3) 『姚惜抱先生前漢書評点』 姚鼎撰 1冊 光緒 16 吳汝綸寄贈 明治 35年 10月 3日

吳汝綸 (1840～1903)。中国、清末の学者。清朝の文壇に勢力を持った桐城派で有名な安徽省桐城の人。同治 4年 (1865) の進士。「文章は天地の至精」とのべた彼は若くから文章家として名をはせ、当時の大官僚曾國藩、李鴻章のプレーンとして活躍、曾・李兩人の上奏文のおおくを書いたといわれる。光緒 28年 (1902) 現在の北京大學の前身である京師大學堂の総教習となり、教育視察のため日本を訪れ、日本の三省堂から『東遊叢録』を出版、中国の学校制度確立に影響をあたえた。著書に『桐城吳先生全書』22巻などがある。(『平凡社大百科事典』「吳汝綸」の項による。)

『東遊叢録』(三省堂、明治 35年 10月) によれば、吳汝綸は、同僚および学生等とともに明治 35年 6月 9日に中国を出発し、同年 10月 18日神戸を出帆し帰途についた。この間、神戸、大阪、京都、名古屋等で関係機関を視察し関係者と会談したが、滞在期間の大半を東京で過ごし、情報の収集につとめた。2)

吳汝綸一行は、大學から小学校にいたるまで、各段階のあらゆる種類の教育機関を視察している。さらに、教育関係だけではなく、銀行や監獄などもふくめた広い範囲の施設も視察している。帝国大学の場合のように、多くの紙数を費やして詳細な紹介が行われているものもある。

『図書原簿』の記載から判断して、吳汝綸がその編著書を帝国図書館に寄贈したのがこの時であったことに相違ないとおもわれる。しかし、旧暦 8月 29日 (新暦 9月 30日) に上野の「遊覧博物館」にいったことが『東遊叢録』にでていいるものの、帝国図書館への言及がない。記述は残されていないが、あるいは、吳氏は、この時帝国図書館へも行ったのであろうか。

なお、『東遊叢録』には、図書館では、唯一大橋図書館が紹介されている。下記の通りである。

〔旧暦8月〕25日、早朝、大橋図書館を視察する。大橋左平の創設である。(大橋は)かつて博文館を創立し、資本金20万円をもって博進社を設けた。明治33年、開館を決定した。出資金20万円、維持費2万5千円であった。事業にとりかかかったところで、(大橋)は病死した。新太郎というその息子が父の志を実現した。その閲覧室は、男女に分けられている。2階には、168人が収容できる。1階では、新聞、新刊雑誌を閲覧し、100人を収容することができる。現在の蔵書は、和漢書3万冊、洋書2千冊余、国内雑誌3千5百冊、外国雑誌5百冊、計3万6千余冊である。毎日午前8時9時から午後4時5時まで開館。閲覧者は、入口で閲覧券を購入し入館できる。一回につき料金は3銭である。もし10回分を購入すれば24銭である。新刊新聞・雑誌の閲覧を請求する場合は、半額である。閲覧資料は、タイトルを利用券に書き込み、返却すると館内の印章を押印し、退館の際にこの券を提出させる。目録を検索し、資料を出納するのは、極めてすばやい。利用規則が、非常にすぐれている。私は、『尚書』、『姚氏漢書平点』と、近著の『風土記』の3種を贈呈した。〕3)

呉氏が大橋図書館に寄贈した資料3点は、帝国図書館に寄贈したものと同一である。3点の資料をそれぞれ何部ずつか来日の際に携行し視察先の機関等に寄贈したのではあるまいか。

- (4) 『格致古微』 王仁俊撰 2冊 光緒22 呉県 王氏籀 鄒 諤 王仁俊寄贈  
明治36年5月11日

王仁俊(1866~1916)。江蘇呉県の人。進士、清末の著名な学者俞樾と同科、蘇州に於ける存古学堂の教員となり、京師大學堂教授にも任じた。平生著述に専心し、等身の著述を試みた。未刊、未定稿もすくなくない。またかれの門弟も多い。書誌学者としても著名で、広州の広雅書局の出版事業にもかかわった。(橋川時雄編『中国文化界人物総鑑』昭和15年10月等、による。)

王氏は、明治36年(1903)4月、学事視察の目的で来日した。当時の肩書きは、「試用知府」であった。4)

- (5) 『奇觚室楽石文述』 劉心源撰 10冊 光緒25 陳矩寄贈 明治36年6月6日  
(6) 『晁氏為鐘図説補義』 鄭珍撰 陳矩補義 1冊 光緒刊 陳矩寄贈 明治36年6月8日  
(7) 『重定金石契、統録、附石鼓文积存、補注』 張昌燕撰 5冊 光緒22 附光緒28 劉氏聚学軒刊 劉世珩寄贈 明治36年7月21日

- (8) 『金石図説』牛運震撰 楮俊模 劉世珩補 2冊 光緒20 劉氏聚学軒重刊 劉世珩寄贈 明治36年7月21日

劉世珩 (1874～1926) は安徽貴池の人。当時の地位は觀察 (清代、一省を数道に分けその行政事務を管理させ、あるいは、塩政・糧運等の特定の事務について省レベルの上司を補佐させるためにおかれた道員とよばれる官僚のこと)。明治36年 (1903) 4月、両江総督張之洞により、大阪博覧会、工場、学校視察のために派遣され来日した。彼はまた、宋元版の影印本の出版によっても当時著名で、元明の雜劇・伝奇の収集家でもあった。

4) 劉世珩自身の手になる帝国図書館を訪問した記録は確認できない。ただし、劉氏に同行した上海製造局職員江慕洵の日本訪問紀行『雲海東遊記』(光緒32跋刊) に次のようにしるされている。

「(旧暦閏5月) 5日戊子 (新暦6月29日) 月曜、帝国図書館をひととおり参観する。図書館に所蔵する内外の新旧の書物は、30余万である。中に閲覧室1部屋が設けられ、数百人を収容できる大きさで、読者の便宜をはかっている。なかに入って視察する。4、5人の担当職員がいて、専ら資料のチェックや出納の任にあたっている。所蔵されている中国の古刻も相当に多い。また日清戦争の際に清朝の宮廷の書庫におさめられていた秘籍で日本のものとなったものも非常に多い。毎巻、その由がしるしてあり、これを見て暗然とした。5) しかし、この日、あわただしく、ざっと、これらに目をとおした。惜しむらくは、ことこまかに見ることができなかったのが残念である。館を去るに際して、圖書の管理者が、蔵書の目録1巻を聚叔に贈ってくれた。

附記、この日見た宋刻本は3種である。

姓解3冊雁門邵恩 宋景祐2年刻大字本每頁10行每行17字

佛說妙吉祥最勝根本大教經宋淳化5年刻經摺本

大唐西域記前序損失無年号宋刻經摺本每頁6行每行17字」6) 聚叔とは、劉世珩のことで、7) 彼は、この時、帝国図書館を訪問している。

なお、資料寄贈とかかわりはないが、この頃中国人が帝国図書館を訪問した記録があるので、次に紹介しておく。明治39年9月、政治・学務の視察のために来日した潮州府知府吳蔭培の日本訪問記録『丙午扶桑遊記』(光緒32序刊) に「(旧暦10月) 13日はれ。あさ、再び上野公園の東京音楽学校へいった。(中略) 道すがら、帝国図書館にたちよった。券を購入して入館する。閲覧者がひきもきらない。皆、冊子目録を検索し、別紙に署名す

る。次から次へと閲覧し返却する。私もまた宋版数種を調べた。陳陽の『樂書』があった。楊万里が序を書いており、徽宗皇帝の時に、朝廷に献上されたものである。また明版数種をあれこれと調べ、ひとつおとり目を通した上で退館した。」とある。8) このころ来日した中国の知識人のあいだでは、帝国図書館に漢籍の善本が所蔵されていることが知られていたようである。

(9) 『柏堂遺書』 方宗誠撰 50冊 光緒刊(志学堂家蔵版) 方守敬寄贈 明治36年7月28日

(10) 『原富』 英国斯密亞丹(アダム・スミス) 原本 嚴復翻訳 8冊 光緒28南洋公学訳書院鉛印 方燕年寄贈 明治37年4月4日

(11) 『天演論』 赫胥黎(ハクスレー) 造論 嚴復訳 1冊 光緒27 富文書局石印 方燕年寄贈 明治37年4月4日

方燕年は、来日当時山東大學総弁。2回来日している。1回目は、学事視察のために、明治35年に来日し、2回目の来日は、翌年夏のことであった。

9) 2回目の滞在もある程度の期間に渡っていたようであり、帝国図書館への寄贈は、この時のことではあるまいか。10)

(12) 『中国国債史附録埃及国債史』 飲冰室主人著 1冊 光緒30 上海 廣智書局 (通俗時局鑑第1種) 新民叢報社寄贈 明治38年1月6日

当時、飲冰室主人梁敬超は、日本に亡命し、横浜において、新民叢報社を主催し、当時の中国の思想界に大きな影響を与えた雑誌『新民叢報』を刊行していた。

(13) 『遼文萃・補遺・附録・西夏文綴・芸文志』 王仁俊輯併撰 1冊 光緒30刊 闕鐸寄贈 明治38年5月29日 (本書は、表紙に「清国王仁俊撰呈」としてされている。)

闕鐸は、安徽合肥の人。日本に留学し、建築学を学ぶ。江蘇都督府監獄科長に任じられた。宋代の建築技法書『营造方式』に関する著述などもある。(『現代支那人名鑑』 外務省情報部 大正13年6月、等による。)

(14) 『佛說玉帝所問萬行莊嚴王經』 釈佛笑訳 4冊 清刊 了塵寄贈 明治38年6月13日

(15) 『墨子閒詁・附録・後語』 孫詒讓撰 8冊 光緒21 蘇州 毛上珍木活字印 孫詒讓寄贈 明治38年9月25日

孫詒讓(1848～1908)。浙江瑞安の人。挙人。清朝考証學の掉尾をかざる碩学である。多くの優れた著書があるが、主著『墨子閒詁』、『周禮正義』

は、『墨子』、『周禮』研究の基本文献である。初期の甲骨文字研究にも業績を残している。自身は、来日したことはないが、本書寄贈の事情は、本書の序末に付された「光緒甲辰正月、從子衡遊學東瀛、屬送呈日本国図書館、永遠儲藏、孫詒讓記」という識語によって知ることができる。

また、彼は、浙江省に積極的に新式教育を導入した。11) 図書館という教育施設にも関心をもっていたのではあるまいか。

- (16) 『影北宋抄本毛詩卷4～6』 1冊 光緒 貴陽 陳矩刊 陳矩寄贈 明治38年11月6日
- (17) 『悟蘭吟・滇遊草・東瀛草・東遊文藁』 陳矩撰 1冊 光緒19序刊 陳矩寄贈 明治38年11月6日
- (18) 『靈峯草堂叢書』 陳矩輯 3冊 光緒 貴陽 陳氏刊 陳矩寄贈 明治38年11月6日
- (19) 『心史』 鄭思肖撰 1冊 光緒31 上海 廣智書局鉛印 闕鐸寄贈 明治38年11月13日
- (20) 『鐵雲藏龜』 劉鶚輯 6冊 光緒29石印 劉鐵雲寄贈 明治39年4月14日
- (21) 『鐵雲藏陶』 劉鶚撰 4冊 光緒30序石印 劉鐵雲寄贈 明治39年4月14日

劉鶚（1857～1909）。中国清末の事業家にして文人。江蘇省丹徒の人、字は鐵雲。早くから黄河治水、鉞山開発、市場経営、など各種の事業に身を投じ、1900年（光緒34）義和団事件に際し、難民救済のために政府に無断で官米を放出、ために新疆に流され死んだ。治水関係の著書のほか、当時発見されたばかりの甲骨文字の資料集『鐵雲藏龜』、異色の小説『老残遊記』などで知られる。（『平凡社大百科事典』「劉鶚」の項による。）

- (22) 『九旗古義述』 孫詒讓撰 1冊 光緒28 瑞安 孫氏籀廬刊 黃紹箕寄贈 明治39年10月19日
- (23) 『古籀拾遺・附宋政和禮器文字攷』 孫詒讓撰 1冊 光緒17刊 黃紹箕寄贈 明治39年10月19日
- (24) 『札迳』 孫詒讓撰 6冊 光緒21序刊 黃紹箕寄贈 明治39年10月19日
- (25) 『周書斟補』 孫詒讓撰 2冊 光緒26刊 黃紹箕寄贈 明治39年10月19日
- (26) 『奏呈學堂章程』 張之洞等撰 5冊 光緒29 北京官書局鉛印 黃紹箕寄

贈 明治39年10月19日

- (27)『拿破崙本紀』英洛加德撰 林紓・魏易訳 4冊 光緒31 北京 学務官書局鉛印 黄紹箕寄贈 明治39年10月19日
- (28)『八旗文経・附作者考・叙録』盛昱輯 附・楊鍾晟輯 12冊 光緒28 序武昌刊 黄紹箕寄贈 明治39年10月19日
- (29)『布匿第二次戦記・続』英阿納楽德撰 林紓・魏易訳 2冊 光緒29 北京 大學堂官書局鉛印 黄紹箕寄贈 明治39年10月19日
- (30)『鐵琴銅劍樓藏書目録』瞿鏞撰 10冊 光緒23 誦芬室刊 黄紹箕寄贈 明治39年10月19日
- (31)『楹書隅録・続編』楊紹和撰 8冊 光緒19 黄紹箕寄贈 明治39年10月19日 (本書は、現物の確認ができなかった。)

黄紹箕は、明治39年(1906)8月、当時湖北提學使であったが、他省の提學使15名とともに、訪日団の団長として、地方教育行政視察のために、日本に派遣された。清朝末期の政官界の実力者張之洞の女婿でもあった。

提學使は、光緒32年4月(1906年5月)従来各省におかれた提督學政を廃止しておかれた、全省を統轄する教育行政機関である提學使司の長官、その地位は、布政使の次、按察使の上で、総督・巡撫の統制下にあった。

12)

また、黄氏が孫詒讓の弟子でもあり、その著書の校正にも携わったことが、例えば『墨子問詁』の跋文によってわかる。13)

- (32)『日本最近政學調査記』逢承恩輯述 1冊 光緒33 東京 並木活版所(印刷) 逢承恩寄贈 明治40年6月10日  
逢承恩は、明治39年(1906)8月、政治・学務視察のため来日。当時、道員への任官待機中の候補道であった。14)
- (33)『孔子集語補遺』王仁俊撰 1冊 光緒32 吳県 王氏正學刊 王仁俊寄贈 明治41年1月6日
- (34)『蒼頡篇輯補斟證・說文引漢律令攷・附録』王仁俊撰 光緒32~33 1冊 吳県 王氏籀郵詠刊 王仁俊寄贈 明治41年1月4日
- (35)『新疆大記』闕鳳樓撰 1冊 光緒34 闕鐸鉛印 闕鐸寄贈 明治41年6月10日
- (36)『戶籍法』島田鐵吉講述 黄右昌訳 1冊 光緒34 湖南安福県 雪竹山房 黄右昌寄贈 明治41年7月7日
- (37)『學詩存稿』但熙撰 1冊 光緒31 序 東京鉛印 但燾寄贈 明治41年

12月24日

但燾、湖北省蒲圻の人。湖北經心書院出身、光緒29年日本に留学し中央大学卒業。光緒31年、孫文が東京で中華同盟会を創設するや、黄興、汪精衛、胡漢民等と共に同会に入会する。南京臨時政府秘書兼公報局局長、国民党への改組により同党幹事。南北統一するや国务院秘書、浙江高等審判庁庭長。宋教仁の暗殺されるや下野、弁護士開業、その後孫文と協力して、各方面に奔走する。(前掲『現代支那人名鑑』の「但燾」の項による。)

(38)『孔子集語補遺商正・附倉頡輯補斟證小箋・說文解字引漢律令補正』李滋然撰 1冊 光緒34序 鉛印 闕鐸寄贈(『図書原簿』には「闕鐸」とあるが「闕鐸」の誤記と思われる) 明治42年1月11日

(39)『民報』1～23 (1905・11～1908・8) 民報發行所 民報發行所寄贈 明治42年3月18日

『民報』は、清末の革命派「中国同盟会」の機関誌。東京で24号まで刊行されたが、日本政府により停刊を命じられ、25～26号まで秘密裡に刊行された。康有爲、梁啓超のよる『新民叢報』との間ではげしい論戦がたたかわされた。本誌が発行所より帝国図書館に寄贈されたことの意味には留意しても良いかもしれない。

(40)『秋女士詞・秋女士遺詩』秋瑾撰 1冊 東京 王芷馥鉛印 龔未生寄贈 明治42年2月3日15)

(41)『榴蔭山房印譜』葉鴻翰篆 2冊 光緒34序刊 朱套印 王統寄贈 明治42年7月9日

(42)『人傑紀念錄』張伯楨編 1冊 宣統元 廣東 兩廣方言學堂 張伯楨寄贈 明治42年8月14日

(43)『海外叢稿』但燾撰 1冊 宣統元鉛印 但燾寄贈 明治42年9月23日

(44)『鄧林唱和集詩詞』鄧廷楨・林則徐撰 陳潜輯 1冊 宣統元 江浦陳氏刊 陳潜寄贈 明治42年11月15日

(45)『日本国志』黄遵憲撰 14冊 光緒22序 羊城 富文齋刊 黄遵庚寄贈 明治42年12月8日

黄遵庚は、『日本国志』の著者黄遵憲のまたいところで、黄遵憲の助力によって来日した。16)

(46)『世界最古之憲政・一名周禮政詮』但燾撰 1冊 明治42年12月刊 但燾寄贈 明治43年1月7日

序に「宣統元年十一月(中略)時游學日本之第七年」とある。



- (47)『浙東三烈集』 沈復声輯 1冊 清 鉛印 沈復声寄贈 明治43年1月18日
- (48)『中国民族権力消長史』 卷上之1、2 陶成章著 龔宝銓編 1冊 明治37 並木印刷所(印刷) 龔宝銓寄贈 明治43年2月3日
- (49)『秋女士遺詩』 秋瑾撰 龔宝銓輯 1冊 教育今語社通信所寄贈 明治43年6月13日
- (50)『居東集』 蔣智由撰 1冊 宣統2鉛印 蔣智由寄贈 明治44年2月25日  
蔣智由は、明治35年(1902)、前掲の方燕年と共に来日している。この時の肩書きは、拳人であった。17)
- (51)『安陽馬中丞国史本伝神道碑』 伝馬吉樟撰 碑李秉衡撰 1冊 清季刊 馬吉樟寄贈 明治44年4月19日  
馬吉樟(1858～1933)、河南省安陽の人。広東巡撫丕瑤の次子、光緒6年の進士。辛亥革命の後帰隠して出ず。少年より金石學を学び終身これに従事、篆篆に工で近代の書家である。(前掲『中国文化界人物総鑑』「馬吉樟」の項による。)
- (52)『儒林宗派』 萬斯同撰 2冊 宣統3 浙江書局刊 馬叙倫寄贈 明治44年7月25日  
馬叙倫(1884～1970)、浙江省杭県の人。民国以前には、雑誌の編集にあたり、学校教員にも任じた。民国後は専門学校、大學の教授、浙江省教育庁長、民政庁長を経て1910年代後半教育次長、教育部政務次長を歴任。官を辞して北京大學教授となる。文字學・諸子等についての多くの著書がある。(前掲『中国文化界人物総鑑』等による。)
- (53)『微題篁溪婦釣図』 張篁溪撰 1冊 北京 張篁溪寄贈 大正2年12月9日
- (54)『晋永和後二十六脩楔詩』 1冊 張篁溪寄贈 大正3年1月10日
- (55)『中華民國憲法史案』 李根源纂 1冊 民国3 東京 国聞編輯社 李根源寄贈 大正3年3月12日  
李根源(1877～?)、雲南省騰越の人。日本の陸軍士官学校第6期歩兵科卒業。光緒34年(1908年)帰国後雲南講武学堂監督となる。辛亥革命に学生をひきいて参加。その後軍人として消長をへ、陝西省長、農商務総長を歴任。晩年は地方の考古文献の研究に従事していた。(前掲『中国文化界人物総鑑』の「李根源」の項による。)
- (56)『鷄足山志補』 趙藩・李根源撰 1冊 民国2 京師鉛印 孫紹虞寄贈 大正3年3月19日

- (57)『擔公遺詩・附秋雨軒詩遺・素蕙遺詩』普荷撰 秋雨軒詩遺 唐華撰 素蕙遺詩 唐素蕙撰 李根源輯 1冊 宣統2 騰越 李根源鉛印 孫紹虞寄贈 大正3年3月19日
- (58)『明遺老騰衝指揮僉事李鍾英先生碑文』李根源撰 1冊 民国鉛印 孫紹虞寄贈 大正3年3月19日
- (59)『李文忠公全書』李鴻章撰 吳汝綸輯 86冊 光緒34 金陵刊 廉泉寄贈 大正3年4月15日
- (60)『劔閒齋詩鈔』陳瀚撰 1冊 清写 陳爾錫寄贈 大正3年8月20日
- (61)『師說存略』陳瀚問 郭崇燾答 1冊 清写 陳爾錫寄贈 大正3年8月20日
- (62)『醉月居詩鈔・詞鈔』葉世熊撰 1冊 宣統2跋刊 張壽豐寄贈 大正3年9月5日
- (63)『西事彙略』迤西陸防各軍總司令部撰 8冊 民国元 鉛印 支那人某寄贈 大正4年1月18日
- (64)『袁督師遺集・附録』袁崇煥撰 2冊 (『滄海叢書』張伯楨輯のうち) 民国3刊 張伯楨寄贈 大正4年1月29日
- 張伯楨、字篁溪、広東省東莞の人。清代の挙人にして、かつて法部小京官候補であつた。中華民国が成立するや、司法部監獄司第三科僉事に任ぜられた。(支那研究会編『最近支那官紳録』(富山房大正7年8月)「張伯楨」の項による。)
- (65)『袁崇煥軼事記』張伯楨撰 1冊 民国鉛印 張伯楨寄贈 大正4年6月3日
- (66)『袁崇煥配祀関岳意見書』張伯楨著 1冊 張伯楨寄贈 大正4年6月3日
- (67)『袁崇煥配祀関岳采議録』張伯楨編 1冊 張伯楨寄贈 大正4年8月6日
- (68)『張文烈遺集・附録・附寒木居詩鈔』張家玉撰 附張家珍撰 4冊 (『滄海叢書』張伯楨輯のうち) 民国3刊 張伯楨寄贈 大正4年8月6日
- (69)『拜輪詩選』蘇玄瑛撰 1冊 民国3 東京 梁綺莊 汪玄度寄贈 大正4年11月3日
- (70)『漢英三昧集』蘇玄瑛纂 1冊 大正3 陳辟 汪玄度寄贈 大正4年11月3日
- (71)『時人画集』高奇峯編 1冊 民国2 上海 審美書館 汪玄度寄贈 大正4年11月3日
- (72)『桐城耆旧伝』馬其昶撰 8冊 宣統3刊 章譚寄贈 大正5年3月11日
- (73)『潜山詩存』錢次撰 1冊 民国3 長沙石印 錢次寄贈 大正5年4月

17日

- (74)『国史教科書』 錢維驥撰 1冊 宣統3 長沙石印 錢維驥寄贈 大正5年4月17日
- (75)『帝孽閻錫山之萬惡史』 (誅孽叢書第1集之1) 1冊 民国5 上海誅孽社 誅孽社寄贈 大正5年9月2日
- (76)『福雅堂詩鈔』 林鶴年撰 4冊 民国5 廈門 怡園鉛印 (再版) 林榕存寄贈 大正6年2月14日
- 林榕存、福建省安溪の人。戊戌の年上書して变法を言い、光緒帝に用いられる。戊戌の政変の際、兎玉源太郎の助力で日本に亡命。その後帰国して各地の書院に教鞭をとり、また、南方の各地に学校・商会を設立。唐才常事件の嫌疑によって欧米に流寓し、清末帰国し福建諮議局議員となる。辛亥革命後、各議員を歴任、国民会議、立法院の議員に選ばれたが、辞して就かなかった。(支那研究会編『最近支那官紳録』(富山房 大正7年8月)の「林榕存」の項による)
- (77)『田賦芻議』 晏才傑著 1冊 民国4 北京 共和印刷局(印刷) 晏才傑寄贈 大正6年6月14日
- (78)『靈峯先生集』 夏震武撰 2冊 民国5 鉛印 劉子民寄贈 大正6年7月17日
- (79)『人道大義録』 夏震武撰 夏成吉輯注 何紹韓校 1冊 民国6 鉛印 劉子民寄贈 大正6年7月17日
- (80)『中国国民道德概編』 姜琦著 1冊 丙辰學社 浙江省第十師範学校寄贈 大正6年10月9日
- (81)『蒸里志略』 葉世熊纂 2冊 宣統2 鉛印 葉鏡波寄贈 大正7年1月10日
- (82)『金銀合行本位制弁法大綱』 劉冕執著 1冊 北京 民国7年 劉冕執寄贈 大正7年2月26日
- (83)『泛梗集』 吳之章撰 劉憲熙・徐湘潭輯 2冊 民国2序 鉛印 曾有瀾寄贈 大正7年8月16日
- (84)『東游詩草』 王博謙撰 1冊 北京 日知報館 大正7・6 日知報館日本支社寄贈 大正7年8月19日
- (85)『沈青門詩集・青門山人文』 沈仕撰 1冊 民国7 鉛印 沈慶民寄贈 大正7年12月5日
- (86)『鄭齋感逝詩』 孫師鄭著 1冊 北京 孫師鄭 孫師鄭寄贈 大正7年12月16日

- (87)『劉炫規杜持平』 邵瑛撰 1冊 民国4 玄孫啓賢鉛印 邵啓賢寄贈 大正8年2月13日
- (88)『駐粵滇軍死事録』 駐粵滇軍總司令部督弁粵滇湘边防軍務署參謀處編集 1冊 民国7 駐粵滇軍總司令部督弁粵滇湘边防軍務署參謀處寄贈 大正8年3月24日
- (89)『錢塘沈氏家乘』 沈紹勳輯 沈祖赫增輯 4冊 民国8 西冷印社鉛印 沈庶民寄贈 大正8年4月23日
- (90)『中華民國郵政事務總論』(民国8年) 上海郵政局編 1冊 1920 上海上海郵政局寄贈 大正9年9月16日
- (91)『廣德寿重光集』 王揖唐輯 12冊 民国9 合肥 義門王氏今伝是樓校鉛・影印 王德建寄贈 大正10年4月2日
- (92)『德國軍事調査記』 吳光傑著 1冊 南京 軍事編輯局 吳光傑寄贈 大正10年6月18日
- (93)『游杭紀略』 楊杵昌輯 1冊 民国10 杭州 文元堂書莊 文元堂寄贈 大正10年01月6日
- (94)『中国各省図書館概況一覽 中華民國10年6月調査』 民国10 8枚 北京 国立北京法政専門学校 揚昭惹寄贈 大正10年11月10日
- (95)『皇清誥授建威將軍雲南提督四川提督唐公年譜・附録』 唐鴻學撰 1冊 光緒34刊 唐術伯寄贈 大正10年12月17日
- (96)『中華民國郵政事務總論』(民国9年) 上海郵政局編 1冊 1921 上海郵政局寄贈 大正11年1月10日
- (97)『中華郵政輿図』 上海 中華民國郵便局寄贈 大正11年5月9日  
『図書原簿』に「大正12年震火災ニヨリ焼失大正13年3月31日廃棄」という注記がある。
- (98)『丁子居臈草』 丁三在撰 1冊 民国 丁氏聚珍做宋版印 徐珂寄贈 大正11年6月20日
- (99)『王風箋題』 丁立誠撰 徐珂箋 1冊 民国9 錢塘 丁氏嘉惠堂做宋活字印 徐珂寄贈 大正11年6月20日
- (100)『史微内編』 張采田撰 4冊 民国元 守齋重刊 張采田寄贈 大正11年7月26日

張爾田(1884~1945)、一に采田に作る。浙江省杭県の人。清史館纂修、国立北京大學、北京師範大学、政治大學及光華大學國史教授等を歴任。家

學をうけて文事にくわしく、ことに詞をよくし、文史のいづれにも深い造詣をもつ優れた学者として重んぜられた。(前掲『中国文化界人物総鑑』の「張爾田」の項等による。)

- (101)『絳守居園池記三種』 樊宗師撰 3冊 民国 紹興 樊鎮刊 張子特寄贈 大正11年10月27日
- (102)『浙江公立図書館年報』 第7期 浙江公立図書館編 1冊 浙江公立図書館寄贈 大正12年2月8日
- (103)『中日現状之比較』 黄耀武著 1冊 民国12 広州 福利公司 黄耀武寄贈 大正12年3月10日
- (104)『鄧尚書年譜・補遺』 鄧邦康撰 1冊 宣統元 江浦 陳氏刊 陳潜寄贈 大正12年6月5日
- (106)『浙江省立農業学校十周年紀念刊』 浙江省立農業学校編 1冊 民国12 浙江省立農業学校 浙江省立農業学校寄贈 大正13年1月25日
- (107)『墨香窠叢編』 楊嘉輯 2冊 民国石印 楊嘉寄贈 大正13年3月13日
- (108)『新俄羅斯』 川上俊彦著 王楫唐訳 1冊 民国12 上海 商務印書館 商務印書館寄贈 大正13年5月9日
- (109)『西湖叢書』 1、2 2冊 民国13 杭州 文元堂書莊 楊柞昌寄贈 大正13年6月24日
- (110)『天蘇閣叢刊二集』 徐珂輯 6冊 民国12 杭県 徐氏刊 徐仲寄贈 大正13年8月5日
- (111)『廈門氣象報文』 第1 大正8年1月至11年12月 1冊 廈門 廈門旭瀛書院 廈門旭瀛書院寄贈 大正13年
- (112)『原人内編』 (晦堂叢著之一) 陳湛然撰 2冊 民国12 懷甯 王漢超 金陵刊 凌景伊敬寄贈 大正14年7月14日
- (113)『仏説阿弥陀経注釈会要』 徐珂輯 2冊 民国14 上海 中華書局鉛印 徐珂寄贈 大正14年7月14日

徐珂 (1869～?)、浙江省杭州の人。光緒年間舉人をもつて入仕し、袁世凱の幕下にあった。戊戌変法の際にはこれにあづかったが、康有為、梁啓超が捕らえられるにおよび、杭州に帰る。その後志を得なかったが、帝位に就こうとした袁世凱が用いようとしたが辞退した。その後上海で著述生活に入り、填詞に関するものをはじめ多くの著作がある。(前掲『中国文化界人物総鑑』の「徐珂」の項による。)

- (114)『上海貨価季刊』 民国14年第1季 財政部駐滬調査貨価処編 上海 財

- 政部駐滬調查貨價處 財政部駐滬調查貨價處寄贈 大正 14 年 8 月 24 日
- (115)『上海貨價季刊』 民國 14 年第 2 季 財政部駐滬調查貨價處編 上海 財政部駐滬調查貨價處 財政部駐滬調查貨價處寄贈 大正 14 年 10 月 29 日
- (116)『心園叢刻一集』 徐珂輯 2 冊 民國 14 杭甯 徐珂鉛印 徐珂寄贈 大正 14 年 11 月 2 日
- (117)『孔經大義考』上 李炳憲編 1 冊 大正 14 青島 同文書局 李炳憲寄贈 大正 14 年 12 月 5 日
- (118)『上海輸入貨物關稅指數表』 財政部駐滬調查貨價處編 1 冊 民國 14 財政部駐滬調查貨價處寄贈 大正 14 年 12 月 19 日
- (119)『湖北赴日視察團報告書』 民國 13 年 張濟時編 1 冊 民國 14 陳達寄贈 大正 14 年 12 月 22 日
- (120)『浙江公立圖書館年報』 第 10 期 1 冊 杭州 民國 14 浙江公立圖書館 浙江公立圖書館寄贈 大正 14 年 12 月 28 日
- (121)『金鷄墩 訴訟小說』 李吉川編述 1 冊 民國 14 上海 世界書局 李吉川寄贈 大正 15 年 1 月 7 日
- (122)『上海貨價季刊』 民國 14 年第 3 集 財政部駐滬調查貨價處編 民國 14 財政部駐滬調查貨價處 財政部駐滬調查貨價處寄贈 大正 15 年 5 月 10 日
- (123)『大學姚氏讀本』 姚明輝撰 1 冊 民國 14 上海 吳興誦經會石印 吳興誦經會寄贈 大正 15 年 6 月 11 日
- (124)『商大生活 (十周年紀念特刊)』 國立武昌商科大学編 1 冊 1926 武昌 國立武昌商科大学 國立武昌商科大学寄贈 大正 15 年 7 月 3 日
- (125)『涅槃學社叢書 (第 2)』 蔡慎鳴輯 1 冊 上海 涅槃學社 涅槃學社寄贈 大正 15 年 7 月 12 日
- (126)『上海貨價季刊』 民國 14 年第 4 季 財政部駐滬調查貨價處編 1 冊 財政部駐滬調查貨價處 財政部駐滬調查貨價處寄贈 大正 15 年 8 月 16 日
- (127)『法學專家蔣竹賢學說』 2 集 蔣竹賢著 1 冊 民國 15 蘇州 蔣竹賢學說發行所 遵憲寄贈 大正 15 年 8 月 27 日
- (128)『上海貨價季刊』 民國 15 年第 1 季 財政部駐滬調查貨價處編 上海 財政部駐滬調查貨價處 財政部駐滬調查貨價處寄贈 昭和 2 年 1 月 19 日
- (129)『泉南指重編』 林鴻輯 6 冊 民國元 上海文瑞樓書莊石印 林鴻寄贈 昭和 2 年 3 月 5 日
- (130)『關稅與國權』 賈士毅著 1 冊 民國 16 上海 財政部駐滬調查貨價處 賈士毅寄贈 昭和 2 年 9 月 14 日

賈士毅 (1884～?)、江蘇省宜興の人。明治大学法科卒業。民国2年に北京政府財政部會計司長となり、その後、主として財政畑の要職を歴任、民国21年財政部常務次長となる。(前掲『中国文化界人物総鑑』の「賈士毅」の項による。)

- (131)『叢書』李炳憲編 1冊 民国16 青島 李炳憲 李炳憲寄贈 昭和2年10月8日
- (132)『缺齋遺稿・附題辭』傅維森撰 2冊 民国11 北京鉛印 附写 傅徵鈞寄贈 昭和2年11月16日
- (133)『四川西北軍學連合秋季運動會記事』 民国15年11月 1冊 成都 運動會編纂處 運動會編纂處寄贈 昭和2年11月19日
- (134)『歷代治黃史』 林修竹撰 徐振聲輯 潘鑑芳繪 2冊 民国15 山東河務總局鉛印 (修竹治河叢書之一) 林修竹寄贈 昭和2年11月25日
- (135)『廈門大學布告』 第6卷第5冊 1冊 廈門大學 廈門大學寄贈 昭和2年12月8日
- (136)『老子考・附錄』 王重民編著 2冊 民国16 北京 中華圖書館協會 (中華圖書館協會叢書第1種) 北京圖書館寄贈 昭和2年12月8日
- (137)『上海貨價季刊』 民国16年第1・2季合刊 財政部駐滬調查貨價處編 1冊 上海 財政部駐滬調查貨價處 財政部駐滬調查貨價處寄贈 昭和3年3月6日
- (138)『浙江省立圖書館報』 第1卷 1冊 民国17 浙江省立圖書館 浙江省立圖書館寄贈 昭和3年4月24日
- (139)『北京圖書館現藏中國政府出版品目錄』 第1輯 北京圖書館編 1冊 民国17 北京 北京圖書館 北京圖書館寄贈 昭和3年7月25日
- (140)『中說』 王通撰 阮逸注 1冊 民国13 上海 涵芬樓宋刊本影印 (續古逸叢書之16) 張元濟寄贈 昭和3年11月21日
- 張元濟 (1867～1959)。浙江省海鹽の人。光緒18年 (1891) の進士。要職を歴任し、袁世凱内閣に學部大臣に擬せられたが、就かず。民国にはいつてからは上海商務印書館の經營に力を尽くし、當時の中國の出版事業に大きく貢献した。また不幸にして日本軍の砲火によって烏有に歸した東方圖書館の發展も彼に負う所が大きかった。書誌學者としても重きをなした。(前掲『中国文化界人物総鑑』、『中國大百科辭典 (新聞出版)』の「張元濟」の項、等による。)
- (141)『北京圖書館報告』 第1・第2年度 民国15年3月至17年6月 北京

- 圖書館編 1冊 北平 北京圖書館 北京圖書館寄贈 昭和3年12月27日
- (142)『錢氏家乘』 錢文選輯 1冊 民國14石印 錢文選寄贈 昭和4年3月11日
- (143)『禹貢注解』 姚明輝撰 1冊 民國17 上海 吳興誦經會鉛印 吳興誦經會寄贈 昭和4年3月11日
- (144)『儒教概論』 北村澤吉 1冊 民國17 上海 商務印書館 商務印書館寄贈 昭和4年5月3日
- (145)『詩品注·附詩選』 鍾嶸撰 陳廷傑注 1冊 民國16 上海 開明書局鉛印 李表白寄贈 昭和4年5月14日
- (146)『學芸』 8卷1~10号 上海 中華學芸社 中華學芸社寄贈 昭和4年12月7日
- (147)『上海物價月報』 第2、第4卷 財政部駐滬調查貨價局編 財政部駐滬調查貨價局寄贈 昭和5年1月10日
- (148)『全國經濟會議專刊』 全國經濟會議秘書處編 1冊 民國17 上海 財政部駐滬弁事處 中央研究院出版品國際交換處寄贈 昭和5年1月28日
- (149)『國立中央研究院氣象研究所概況』 1冊 民國20 南京 國立中央研究院氣象研究所 國立中央研究院出版品國際交換處寄贈 昭和5年1月28日
- (150)『黑龍江流域的農民與地主』 陳翰笙、王寅生共著 1冊 民國18 南京 國立中央研究院社會科學研究所 國立中央研究院出版品國際交換處寄贈 昭和5年1月28日
- (151)『欽天山氣象台落成紀念刊』 欽天山氣象台編 1冊 民國18 南京 國立中央研究院出版品國際交換處寄贈 昭和5年1月28日
- (152)『上海貨價季刊』 民國18年第2卷 國定稅則委員會編 1冊 民國18 上海 國定稅則委員會 國定稅則委員會寄贈 昭和5年2月4日
- (153)『上海貨價季刊』 民國18年第3卷 國定稅則委員會編 1冊 上海 國定稅則委員會 國定稅則委員會寄贈 昭和5年2月19日
- (154)『曝畫紀余』 秦聲潔編 4冊 民國19 上海 秦聲潔 中華民國公使館寄贈 昭和5年5月22日
- (155)『達庵隨筆』 鄔寶理撰 1冊 光緒34刊 廣州半帆樓寄贈 昭和5年6月26日
- (156)『明珠』 鄔寶珍纂 1冊 宣統2刊 廣州半帆樓寄贈 昭和5年6月26日
- (157)『智因閣詩集』 鄔寶珍撰 1冊 宣統元刊 廣州半帆樓寄贈 昭和5年6



月 26 日

- (158)『吉祥録』 鄔慶時等輯 1冊 宣統元 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日
- (159)『耕雲別墅詩集』 鄔啓柞撰 2冊 宣統3鉛印 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日
- (160)『耕雲別墅詩話』 鄔啓柞撰 1冊 宣統3刊 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日
- (161)『立徳堂詩話』 鄔以謙撰 1冊 宣統2 番禺 鄔慶時校刊 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日
- (162)『無終始齋詩文集』 程大璋撰 1冊 民国17 広州刊 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日
- (163)『經學導言』 鄔慶時述 1冊 民国17 広州刊 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日
- (164)『窮忙小記』 鄔慶時著 1冊 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日
- (165)『東齋雜誌』 鄔慶時撰 1冊 民国17刊 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日
- (166)『聽雨樓隨筆』 鄔慶時撰 1冊 民国16序刊 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日
- (167)『南村草堂筆記』 鄔慶時撰 1冊 民国9鉛印 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月22日
- (168)『番禺隱語解』 鄔慶時著 1冊 民国11 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月22日
- (169)『番禺末業志』 鄔慶時編 1冊 民国18 広州半帆楼寄贈 昭和5年6月26日

「半帆楼」については、つまびらかにしない。寄贈にかかわっていたと思われる鄔慶時（1883～？）は、広東省番禺の人。はじめ専ら英日文を治め、その後中国詩・古文辞を修め、今文經學に精通する。広東省の地方の教育局長、地方志総纂、『広東年鑑』の編纂主任などに任じた。（前掲『中国文化界人物総鑑』の「鄔慶時」の項による。）

- (170)『上海貨価季刊』 民国18年第4季 1冊 国定税則委員会編 国定税則委員会寄贈 昭和5年6月26日
- (171)『廈門氣象報文』 第2 廈門旭瀛書院編 1冊 廈門旭瀛書院 廈門旭瀛書院寄贈 昭和5年8月7日

- (172)『近代支那教育思想史』 舒新城著 錢歌川訳 1冊 民国 上海 中華書局 舒新城寄贈 昭和5年10月16日  
舒新城 (1893～1960)、湖南省溆浦の人。湖南高等師範学校卒業、中学、専門学校の教員を経て中華書局編輯長に任ず。近代中国の代表的な辞書である『辞海』の編集をはじめとして出版界に大きな業績を残した。前掲『中国文化界人物総監』及び『中国大百科辞典 (新聞出版)』の舒新城の項による。
- (173)『参観日本教育報告 (1930)』 国立北京大學教育系参観団編 1冊 北京 国立北京大學教育系参観団 国立北京大學教育系参観団寄贈 昭和5年12月10日
- (174)『金陵遊記』 1冊 上海 金家閣耕読所 金家閣耕読所寄贈 昭和6年1月13日
- (175)『帰省贈言録』 潘飛声撰 1冊 光緒14跋刊、金家閣耕読所寄贈 昭和6年1月13日
- (176)『国立中央研究院地質研究所集刊』 1～6 民国17 上海 国立中央研究院地質研究所 国立中央研究院地質研究所寄贈 昭和6年1月13日
- (177)『国民政府公報』 第360～431号 南京 国民政府印鑄局 国民政府印鑄局寄贈 昭和6年1月31日
- (178)『浙江省昆虫局叢刊』 第1～7号 7冊 杭州 浙江省昆虫局寄贈 昭和6年1月31日
- (179)『内政公報』 第2卷1～12期 南京 中華民國内政部総務局 中華民國内政部総務局寄贈 昭和6年1月31日
- (180)『農鋤公報』 1～13期 農鋤部広報室 農鋤部広報室寄贈 昭和6年1月31日
- (181)『立法院公報』 第1～12期 南京 立法院秘書処 立法院秘書処寄贈 昭和6年1月31日
- (182)『財政公報』 第1～22期 南京 財政部 財政部寄贈 昭和6年1月31日
- (183)『中国市政小史』 潘如樹編著 1冊 1931 国立清華大學寄贈 昭和6年8月7日
- (184)『国立北平図書館館刊』 第3卷 (1～6号) 民国17 北京図書館 北京図書館寄贈 昭和6年8月15日
- (185)『学芸』 9卷1～10号、10卷1～5号 上海 中華学芸社 中華学芸社寄贈 昭和6年8月15日

- (186)『立法院公報』第13～17期 南京 立法院秘書處 立法院秘書處寄贈  
昭和6年11月13日
- (187)『交通公報』第130～155号 交通部交通公報處 交通部交通公報處寄贈  
昭和6年11月13日
- (188)『工商公報』第13～18期 南京 工商部 工商部寄贈 昭和6年11月  
13日
- (189)『外交部公報』第2卷(7～12号) 南京 外交部 外交部寄贈 昭和  
6年11月13日
- (190)『商標公報』第6～11、28～38期 南京 工商部商標局 工商部商標  
局寄贈 昭和6年11月17日
- (191)『銅山県公共図書館年刊』第1期 1冊 民国20 銅山県公共図書館 銅  
山県公共図書館寄贈 昭和6年12月16日
- (192)『国立中央研究院總報告』民国17年度 国立中央研究院文書處編 南  
京 国立中央研究院總弁事處 国立中央研究院總弁事處寄贈 昭和7年2  
月3日
- (193)『内政部民政會議紀要』第1期 内政部第1期民政會議秘書處編 民国  
18 内政部總務司 内政部總務司寄贈 昭和7年2月3日
- (194)『中国學術大綱』蔡尚思著 1冊 民国21 上海 啓智書局 蔡尚思寄贈  
昭和7年4月21日  
蔡尚思(1905～?)、福建省德化の人。中国思想史研究者。国立北京大学  
研究所に学ぶ。戦前、上海、武漢、南京の大学で教鞭をとる。1979年3月当  
時復旦大学教授。84年1月北京で成立した孫中山研究学会の理事。(『現代中  
国人名辞典』1986年版及び蔡尚思『中国伝統思想総批判』(上海、1951)の  
「自紀」による。)
- (195)『中国地方志備微目・附録』朱士嘉撰 1冊 民国20 北平 燕京大學  
図書館鉛印 燕京大學図書館寄贈 昭和7年4月30日
- (196)『上海貨価季刊』民国19年第4季 1冊 上海 国定稅則委員會 国定  
稅則委員會寄贈 昭和7年4月30日
- (197)『司法公法』第78～101、104～128 南京 中華民國司法院秘書處 中  
華民國司法院秘書處寄贈 昭和7年7月7日
- (198)『實業公報』第8～16期 南京 中華民國實業部 中華民國實業部寄贈  
昭和7年7月7日
- (199)『立法院公報』第19～24期 南京 中華民國立法院秘書處 中華民國

- 立法院秘書處寄贈 昭和7年7月7日
- (200)『民國醫學雜誌』第6卷 北京 民國醫學雜誌社 民國醫學雜誌社寄贈 昭和7年7月7日
- (201)『立法專刊』立法院秘書處編 南京 民智書局 立法院秘書處寄贈 昭和7年8月26日
- (202)『軍政公報』第61～69号 南京 中華民國軍政部 中華民國軍政部寄贈 昭和7年8月26日
- (203)『外交部公報』第3卷(1～4号) 南京 中華民國外交部總務司 中華民國外交部總務司寄贈 昭和7年8月26日
- (204)『行政院公報』第232～248号 中華民國行政院秘書處 中華民國行政院秘書處寄贈 平成7年8月26日
- (205)『國民政府公報』民國19·2～12、20·3～6 南京 國民政府文官處印鑄局 國民政府文官處印鑄局寄贈 昭和7年8月26日
- (206)『交通公報』第209～258号 南京 中華民國交通部 中華民國交通部寄贈 昭和7年8月26日
- (207)『鐵道公報』第13～28期 南京 中華民國鐵道部 中華民國鐵道部寄贈 昭和7年8月26日
- (208)『商標公報』第47、52期 南京 中華民國實業部商標局 中華民國實業部商標局寄贈 昭和7年8月26日
- (209)『日本東京所見中國小說書目提要·大連圖書館所見中國小說書目提要』孫楷第撰 1冊 民國20 北平 國立北平圖書館鉛印 國立北平圖書館寄贈 昭和7年9月12日
- (210)『中國哲學顯道』繆子才著 1冊 廈門 繆子才 繆子才寄贈 昭和7年10月13日
- (211)『國立北平圖書館現藏中國官書目錄』第2輯國民政府之部 1冊 民國21 北平 國立北平圖書館 國立北平圖書館寄贈 昭和7年12月5日
- (212)『國立北平圖書館館刊』第4、5卷 『國立北平圖書館館刊』編輯所 國立北平圖書館寄贈 昭和7年12月13日
- (213)『倫理革命』蔡尚思著 1冊 民國19 上海 泰東書局 蔡尚思寄贈 昭和8年1月10日
- (214)『江蘇省立國學圖書館年刊』第5 南京 江蘇省立國學圖書館 江蘇省立國學圖書館寄贈 昭和8年1月10日
- (215)『丁松年先生百年紀念集』浙江省立圖書館編 1冊 民國21 杭州 浙

- 江省立圖書館 浙江省立圖書館寄贈 昭和8年5月3日
- (216)『叢書子目索引』 金步瀛撰 1冊 民國20 杭州 浙江省立圖書館鉛印  
浙江省立圖書館寄贈 昭和8年5月3日
- (217)『四庫略目』 楊立誠撰 1冊 民國18 杭州 浙江省立圖書館鉛印 浙  
江省立圖書館寄贈 昭和8年5月3日
- (218)『浙江省立圖書館善本書目題識』 陸祖毅撰 1冊 民國21 杭州 浙江  
省立圖書館鉛印 浙江省立圖書館寄贈 昭和8年5月3日
- (219)『浙江省立圖書館閱覽指南』 1冊 民國21 杭州 浙江省立圖書館 浙  
江省立圖書館寄贈 昭和8年5月3日
- (220)『浙江省立圖書館館報』 第1、3~6卷 杭州 浙江省立圖書館 浙江省  
立圖書館寄贈 昭和8年5月3日
- (221)『浙江省立圖書館概況』 民國20年1月 1冊 杭州 浙江省立圖書館  
浙江省立圖書館寄贈 昭和8年5月3日
- (222)『別集索引』 浙江省立圖書館輯 1冊 民國 杭州 浙江省立圖書館  
浙江省立圖書館寄贈 昭和8年5月3日
- (223)『文瀾閣目索引』 楊立誠撰 1冊 民國18 杭州 浙江省立圖書館鉛印  
浙江省立圖書館寄贈 昭和8年5月3日
- (224)『中日著者號碼表』 張英敏著 1冊 杭州 浙江省立圖書館 張英敏寄贈  
昭和8年5月25日
- (225)『于文襄手札』 于敏中撰 國立北平圖書館輯 1冊 民國22 國立北平  
圖書館影印 江蘇省立國學圖書館寄贈 昭和9年1月15日
- (226)『越縵堂讀史札記』 李慈銘撰 王重民輯 9冊 民國20 北平 國立北  
平圖書館鉛印 江蘇省立國學圖書館寄贈 昭和9年1月15日
- (227)『景印四庫全書罕傳本擬目』 袁同禮撰 1冊 民國21 國立北平圖書館  
鉛印 江蘇省立國學圖書館寄贈 昭和9年1月15日
- (228)『古佚書錄叢輯』 趙士燁編 4冊 民國22 國立北平圖書館中華圖書館  
協會鉛印 江蘇省立國學圖書館寄贈 昭和9年1月15日
- (229)『國立北平圖書館館務報告』 民國20年7月 國立北平圖書館編 民國  
21 江蘇省立國學圖書館寄贈 昭和9年1月15日
- (230)『江蘇省立國學圖書館年刊』 第6 民國22 南京 江蘇省立國學圖書館  
江蘇省立國學圖書館寄贈 昭和9年1月15日
- (231)『清初史料四種·附清開國史料考叙論訂補編』 謝國楨輯 2冊 民國23  
北平 國立北平圖書館鉛印 江蘇省立國學圖書館寄贈 昭和9年1月15日

- (232) 『孫淵如外集·附錄』 孫星衍撰 王重民輯 1冊 國立北平圖書館鉛印  
江蘇省立國學圖書館寄贈 昭和9年1月15日
- (233) 『浙江省建設庁圖書館中西文圖書目錄彙編』 徐孟飛編 1冊 民國22  
浙江省建設庁圖書館 浙江省建設庁圖書館寄贈 昭和9年3月6日
- (234) 『學芸』 10卷 民國19 上海 中華學芸社 中華學芸社寄贈 昭和9年  
4月16日
- (235) 『北京圖書館月刊』 1 北京 北京圖書館 北京圖書館寄贈 昭和9年  
4月17日
- (236) 『國立北平圖書館善本書目』 趙万里撰 2冊 民國22 國立北平圖書館  
刊 國立北平圖書館寄贈 昭和9年5月21日
- (237) 『學芸小叢書』 9 鄭師評輯 1冊 民國22 上海 中華學芸社 鄭師  
評寄贈 昭和9年6月13日
- (238) 『國立北平圖書館館報』 6 北平 國立北平圖書館 國立北平圖書館寄贈  
昭和10年1月24日
- (239) 『學芸』 11卷 民國20 上海 中華學芸社 中華學芸社寄贈 昭和10  
年1月24日
- (240) 『國立北平圖書館書目目錄類·補編·書名索引·著者索引』 蕭璋撰 2  
冊 民國23 國立北平圖書館鉛印 國立北平圖書館寄贈 昭和10年4月2  
日
- (241) 『浙江省立圖書館三十周年紀念冊』 1冊 民國22 杭州 浙江省立圖書  
館 浙江省立圖書館寄贈 昭和10年5月1日
- (242) 『浙江省立圖書館善本書目題識』 陸祖毅撰 1冊 民國21 浙江省立圖  
書館鉛印 浙江省立圖書館寄贈 昭和10年5月1日
- (243) 『浙江省立圖書館全年度工作報告書』 民國22年版 1冊 民國24 杭州  
浙江省立圖書館 浙江省立圖書館寄贈 昭和10年5月1日
- (244) 『浙江全省圖書館事業之現狀』 陳訓慈 1冊 民國22 杭州 浙江省立  
圖書館 浙江省立圖書館寄贈 昭和10年5月1日
- (245) 『文瀾學報』 1 杭州 浙江省立圖書館 浙江省立圖書館寄贈 昭和10  
年5月1日
- (245) 『浙江省史略』 陳訓慈著 1冊 民國24 浙江青年月刊單印本 陳訓慈  
寄贈 昭和10年5月1日
- (246) 『廣告實施學』 葉心佛著 1冊 民國24 上海 中國廣告社 中國廣告  
社寄贈 昭和10年5月29日

- (246)『浙江省立図書館図書総目 中日文書』第1輯上下冊 浙江省立図書館編 2冊 民国24～25 杭州 浙江省立図書館 浙江省立図書館寄贈 昭和10年5月1日
- (248)『図書館学季刊』2(1～2)、3(1～2) 北京 中華図書館協会 中華図書館協会寄贈 昭和10年7月18日
- (249)『劇學月刊』1～3 北京 南京戲曲音樂院北平分院研究所 南京戲曲音樂院北平分院研究所寄贈 昭和10年7月18日
- (250)『東萊趙氏楹書叢刊』趙琪輯 12冊 民国24 東萊 趙氏永厚堂鉛印 趙琪寄贈 昭和10年7月25日
- (251)『中国行政法論』総論篇第1分冊 徐仲白 1冊 民国23 北平 好望書店 宋文瑞寄贈 昭和10年8月15日
- (252)『国立北平師範大学図書館図書目録』6 民国24 北平 国立北平師範大学 国立北平師範大学寄贈 昭和10年9月5日
- (253)『国立北平師範大学図書館図書目録』7 民国24 北平 国立北平師範大学 国立北平師範大学寄贈 昭和10年12月21日
- (254)『道統源流志』莊巖居士編 1冊 民国18 民鐸報社 震選捐寄贈 昭和10年12月21日
- (255)『教育部公報』3(28～41) 南京 教育部秘書處 教育部秘書處寄贈 昭和10年12月26日
- (256)『行政院公報』282～301 南京 行政院秘書處 行政院秘書處寄贈 昭和10年12月26日
- (257)『中国海關華洋貿易総冊』民国19年上下 総稅務司署統計科編 民国20 上海 総稅務司署統計科 南京国立中央図書館寄贈 昭和11年3月27日
- (258)『交通部統計年報』民国17年 交通部総稅務司統計科編 1冊 民国20 南京 交通部総稅務司統計科 南京国立中央図書館寄贈 昭和11年3月27日
- (259)『海關中外貿易統計年刊』民国20年～22年 上海総稅務司署統計科編 民国20～22 上海総稅務司署統計科 南京国立中央図書館寄贈 昭和11年3月27日
- (260)『中国郵政統計專刊』交通部総稅務司第六科編 民国20 交通部印刷所 南京国立中央図書館寄贈 昭和11年3月27日
- (261)『中華民國交通部郵政総局郵政事務年報』民国19、20年度 交通部郵政総局編 上海 交通部郵政総局 南京国立中央図書館寄贈 昭和11年3

月 27 日

- (262) 『中日上海停戰及日方撤軍協定』 民国 21 年 5 月簽訂 外交部編 1 冊  
民国 21 南京 外交部 南京国立中央圖書館寄贈 昭和 11 年 3 月 27 日
- (263) 『中国加入非戰公約案』 民国 17 年 11 月 27 日簽訂、民国 18 年 3 月 8 日  
批准 外交部編 1 冊 民国 18 南京 外交部 南京国立中央圖書館寄贈  
昭和 11 年 3 月 27 日
- (264) 『中英交收威海衛專約及協定』 民国 19 年 4 月 18 日簽訂 1 冊 民国 南  
京 外交部 南京国立中央圖書館寄贈 昭和 11 年 3 月 27 日
- (265) 『中国波蘭友好通商航海条約』 民国 18 年 9 月 18 日簽訂 1 冊 民国 20  
南京 外交部 南京国立中央圖書館寄贈 昭和 11 年 3 月 27 日
- (266) 『中日協定』 民国 19 年 5 月 6 日簽訂 1 冊 民国 19 南京 外交部 南  
京国立中央圖書館寄贈 昭和 11 年 3 月 27 日
- (267) 『中捷友好通商条約』 民国 19 年 2 月 12 日簽訂 1 冊 民国 19 南京  
外交部 南京国立中央圖書館寄贈 昭和 11 年 3 月 27 日
- (268) 『中希通好条約』 民国 18 年 9 月 30 日簽訂 1 冊 民国 19 南京 外交部  
南京国立中央圖書館寄贈 昭和 11 年 3 月 27 日
- (269) 『導准工程計畫』 導准委員會編 民国 20 南京 導准委員會 導准委員  
會寄贈 昭和 11 年 3 月 31 日
- (270) 『国民政府救濟水災委員會察勘各区工程備覽』 1 冊 民国 21 上海  
中国科学圖書儀器公司 南京国立中央圖書館寄贈 昭和 11 年 3 月 31 日
- (271) 『解決中英庚款換文』 民国 19 年 9 月 19 日、22 日互換 1 冊 民国 19  
南京 外交部 南京国立中央圖書館 昭和 11 年 3 月 31 日
- (272) 『靜拱樓詩集』 朱紹陽撰 1 冊 民国 24 序 鉛印 朱紹陽寄贈 昭和 11  
年 7 月 9 日
- (273) 『浙江省田賦一覽』 浙江財政審查委員會編 1 冊 民国 17 年 浙江財政  
審查委員會 浙江財務人民養成所寄贈 昭和 11 年 7 月 9 日
- (274) 『浙江省財政一覽』 民国元年至民国 18 年度止 1 冊 浙江省 浙江財務  
人員養成所 浙江財務人員養成所寄贈 昭和 11 年 7 月 9 日
- (275) 『国立北平師範大学圖書目錄』 第 6、第 7 国立北平師範大学編 2 冊  
民国 24、25 国立北平師範大学寄贈 昭和 11 年 7 月 9 日
- (276) 『鄉村建設論文集』 第 1 集 梁漱溟著 1 冊 民国 25 鄒平、山東鄉村  
建設研究院 山東鄉村建設研究院寄贈 昭和 11 年 7 月 9 日
- (277) 『司法院公報』 第 1～16 号、第 86～129 号 民国 21～23 南京 司法



院秘書處 司法院秘書處寄贈 昭和11年7月14日

- (278)『商標公報』第52～82期、第89～94期 南京 實業部商標局編輯課  
實業部商標局寄贈 昭和11年7月14日
- (279)『鐵道公報』第194～543期、700～751期、1400～1514期 民國20～  
23 南京 鐵道部 鐵道部寄贈 昭和11年7月14日
- (280)『考試院公報』民國20年(7～11)、民國22年(1～5)、民國23年(1～  
9) 民國22～23 南京 考試院秘書處 考試院秘書處寄贈 昭和11年7  
月14日
- (281)『國民政府公報』第857、991、1171～1326、1400～1476 民國20～23  
南京 國民政府文官處印鑄局公報發行所 國民政府文官處印鑄局公報發行  
所寄贈 昭和11年7月14日
- (282)『國民政府公報』洛字第10～73 民國21 洛陽 國民政府文官處印  
鑄局公報發行所 國民政府文官處印鑄局公報發行所寄贈 昭和11年7月14  
日
- (283)『教育部公報』第3(42～52)、4(1～24)、6(25～50) 民國20～21、  
23 南京 教育部秘書處廣報室 教育部秘書處廣報室寄贈 昭和11年7月  
14日
- (284)『華僑週報』第1至44期 民國21～22 南京 華僑週報社 華僑週報社  
寄贈 昭和11年7月14日
- (285)『交通公報』第274～294、312～371、416～440、607～623 民國  
20～23 南京 交通部公報處 交通部公報處 昭和11年7月14日
- (286)『外交部公報』5卷(1～4)～7卷(1～5、9～11) 民國21～23 南  
京 外交部情報司 外交部情報司寄贈 昭和11年7月14日
- (287)『浙江省立圖書館館刊』第3卷(1～6期) 杭州 浙江省立圖書館  
浙江省立圖書館寄贈 昭和11年7月22日
- (288)『浙江省立圖書館月刊』第1卷(1～10期)、第2卷(1～6期) 民國  
21～22 杭州 浙江省立圖書館 浙江省立圖書館寄贈 昭和11年8月3日
- (289)『錫山尤氏叢刊』甲集 尤桐輯 2冊 民國24鉛印 尤炳寄贈 昭和  
11年8月17日
- (290)『海關進出口貿易統計月報』民國21年1月～23年10月 上海 總稅  
務司署統計科 總稅務司署統計科寄贈 昭和11年9月10日
- (291)『國立北平圖書館館刊』第7卷(1～6号)、第8卷(1～6号) 民國22  
～23 北平 國立北平圖書館 國立北平圖書館寄贈 昭和11年9月10日

- (292) 『內政公報』 第6卷(1~26期) 民國22 南京 內政部公報處 內政部公報處寄贈 昭和11年9月14日
- (293) 『外交部公報』 第4卷(4~8)、第7卷(6~8) 民國20 南京 外交部總務司 外交部總務司寄贈 昭和11年9月14日
- (294) 『行政院公報』 第302~318号 民國20 南京 行政院秘書處 行政院秘書處寄贈 昭和11年9月14日
- (295) 『交通公報』 第295~311号、第372~415号、第441~606 民國20~23 南京 交通部交通公報處 交通部交通公報處寄贈 昭和11年9月14日
- (296) 『考試院公報』 民國22年 民國23 南京 考試院秘書處、考試院秘書處寄贈 昭和11年9月14日
- (297) 『國民政府公報』 洛字第1~9号 民國21 洛陽 國民政府文官處印鑄局 國民政府文官處印鑄局寄贈 昭和11年9月14日
- (298) 『國民政府公報』 第992~1170、第1327~1399、第1477~1629号 民國21~23 南京 國民政府文官處印鑄局 國民政府文官處印鑄局寄贈 昭和11年9月14日
- (299) 『教育部公報』 第4卷(25~50期)、第6卷(1~24期) 民國21、23 南京 教育部秘書處公報室 教育部秘書處公報室寄贈 昭和11年9月14日
- (300) 『司法公法』 第135~156号 民國20~21 南京 司法院秘書處 司法院秘書處寄贈 昭和11年9月14日
- (301) 『私立江蘇流通圖書館館屋落成紀念冊』 1冊 民國24 鎮江 江蘇流通圖書館 江蘇流通圖書館寄贈 昭和11年10月12日
- (302) 『冀東防共自治政府成立周年紀念專刊』 冀東防共自治政府編 1冊 民國25 序 通縣 冀東防共自治政府 冀東防共自治政府長官寄贈 昭和11年12月10日
- (303) 『三十年来中国思想界』 蔡尚思著 1冊 民國25 上海 滬江大學 滬江大學寄贈 昭和12年2月10日
- (304) 『北平近代科学圖書館書目』 第6 北平近代科学圖書館編 1冊 北平 北平近代科学圖書館寄贈 昭和12年2月10日
- (305) 『日本期刊三十八種中東方學論文編目·附引得』 于式玉編 引得編纂處校訂 1冊 1933 北平 引得編纂處 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年3月31日
- (306) 『燕京大學圖書館目錄初稿』 叢書之部並引得 鄧嗣禹撰 1冊 民國24 北平 燕京大學圖書館 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年3月31日

- (307)『佛家名相通釈』 熊十力著 2冊 民国26 北平 国立北京大學出版組  
熊十力寄贈 昭和12年5月14日  
熊十力(1885～1968)。現代中国の思想家。湖北省黄冈の人。青年時代には革命運動に参加したが、1917年兄弟の窮死を境に、仏教を学ぶ。易の哲学を基礎に宋明理学と仏教の唯識論を融合した新唯識論を唱えた。新中国では厳しい批判をうけたが、近年、儒教哲学のもつ普遍的な価値をさぐり現代社会に再生することを目指す思想家群である「新儒家」の代表的存在の1人として評価されている。(『平凡社世界大百科事典』の「熊十力」の項及び『岩波哲学思想事典』の「新儒家」の項による。)
- (308)『中華民國郵政儲金匯業事務年報』 第6期 民国24年度 中華民國交通部郵政儲金匯業局編 1冊 民国26 中華民國交通部郵政儲金匯業局寄贈  
昭和12年5月14日
- (309)『中華民國交通部郵政總局郵政事務年報』 民国23年度 交通部郵政總局編 民国25 上海交通部郵政總局 交通部郵政總局寄贈 昭和12年5月14日
- (310)『明人絶句選』 楊睿聰選 1冊 民国 潮安 楊氏小嶼岫館鉛印 楊睿聰寄贈 昭和12年6月1日
- (311)『国立北平師範大学図書館図書目録』 第11次 北平 国立北平師範大学図書館 国立北平師範大学図書館寄贈 昭和12年6月1日
- (312)『北平近代科学図書館書目』 第9～10 北平近代科学図書館 北平近代科学図書館寄贈 昭和12年6月15日
- (313)『中国税制史』 上・下 吳兆華著 2冊 民国26 上海 商務印書館 吳兆華寄贈 昭和12年6月23日
- (314)『鉄道公報』 第1152～1405期 南京 民国24～25 鉄道部秘書処 鉄道部秘書処寄贈 昭和12年7月1日
- (315)『考試院公報』 民国22年(10～12期)、24年(1～12期) 民国23～24 南京 考試院秘書処 考試院秘書処寄贈 昭和12年7月1日
- (316)『司法公法』 第36～96 民国24～25 南京 司法院秘書処 司法院秘書処寄贈 昭和12年7月1日
- (317)『審計部公報』 第47～56期 民国24 南京 審計部総務処 審計部総務処寄贈 昭和12年7月1日
- (318)『実業公報』 第197～267期 民国23～25 南京 実業部総務司 実業部総務司寄贈 昭和12年7月1日

- (319)『稅務公報』第3～4卷 民國23～24 南京 財政部總務署 財政部總務署寄贈 昭和12年7月1日
- (320)『立法院公報』第66～74期 民國24 南京 立法院秘書處 立法院秘書處寄贈 昭和12年7月1日
- (321)『商標公報』第95～108期 民國24～25 上海 實業部商標局 實業部商標局寄贈 昭和12年7月1日
- (322)『國民政府公報』第1630～1982 民國24～25 南京 國民政府文官處印鑄局 國民政府文官處印鑄局寄贈 昭和12年7月1日
- (323)『衛生半月刊』第12卷(1～12期) 民國24 南京 內政部衛生署 內政部衛生署寄贈 昭和12年7月3日
- (324)『陳少白先生哀思錄』陳德芸·陳景農輯 1冊 民國24 鉛印 廣州西堤連碼頭寄贈 昭和12年7月6日
- (325)『東華錄綴言』奕賡撰 1冊 民國24 北平 燕京大學圖書館鉛印 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (326)『太平天國起義記』洪仁玕述 韓山文撰 簡又文訳 1冊 民國24 北平 燕京大學圖書館鉛印 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (327)『崔東壁知非集』崔述撰 1冊 民國20 北平 燕京大學圖書館鈔本影印 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (328)『清語人名訳漢』奕賡撰 1冊 民國 北平 燕京大學圖書館鉛印 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (329)『宋程純公年譜·明薛文清公年譜』楊希閔撰 1冊 北京 燕京大學圖書館鉛印 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (330)『春覺齋論畫』林紓撰 民國24 1冊 北平 燕京大學圖書館鉛印 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (331)『三山老人不是集』浦起龍撰 1冊 民國25 北平 燕京大學圖書館鉛印 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (332)『萬曆三大征考』茅瑞徵撰 1冊 民國23 北平 燕京大學圖書館鉛印 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (333)『悔翁詩鈔·補遺·詩余·筆記』汪士鐸撰 8冊 上元 吳氏銅鼓軒重刊 民國24 北平 燕京大學圖書館補刊 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (334)『鄉土志叢編』第1輯 燕京大學圖書館輯 10冊 民國26 北平 燕京大學鉛印 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日

- (335)『燕京大學圖書館使用法』 1冊 民國25 北平 燕京大學圖書館 燕京大學圖書館寄贈 昭和12年7月9日
- (336)『工業標準與度量衡』 第1卷(第1~12期) 民國23~24 南京 實業部全國度量衡局 實業部全國度量衡局寄贈 昭和17年9月17日
- (337)『浙江省立圖書館館刊』 第4卷(1~6期) 民國24 杭州 浙江省立圖書館 浙江省立圖書館寄贈 昭和12年10月30日
- (338)『教育部公報』 第7卷第1期~第8卷第34期 民國24~25 南京 教育部總務司 教育部總務司寄贈 昭和12年12月16日
- (339)『庸報』 3713~3751 民國25 天津 庸報發行所 庸報發行所寄贈 昭和12年12月16日
- (340)『上海物價月報』 第11卷(1~12) 民國24 上海 財政部國定稅則委員會 財政部國定稅則委員會寄贈 昭和12年12月20日
- (341)『北京近代科學圖書館一周年報告』 1冊 民國27 北京 北京近代科學圖書館 北京近代科學圖書館寄贈 昭和13年1月18日
- (342)『墨之物理的研究』 1冊 民國26 (北京近代科學圖書館叢刊第四) 北京 北京近代科學圖書館 北京近代科學圖書館寄贈 昭和13年1月18日
- (343)『北京近代科學圖書館館刊』 第2號 民國26 北京 北京近代科學圖書館 北京近代科學圖書館寄贈 昭和13年1月18日
- (344)『監察公報』 第27~83期 民國24~25 監察院秘書處 監察院秘書處寄贈 昭和13年2月22日
- (345)『國立北平圖書館館刊』 第9卷(1~6號) 民國24 北平 國立北平圖書館 國立北平圖書館寄贈 昭和13年2月22日
- (346)『工業中心』 第4卷(1~12期) 民國24 南京 實業部中央工業試驗所 實業部中央工業試驗所寄贈 昭和13年3月4日
- (347)『北京近代科學圖書館書目』 第11新着圖書目錄 民國27 北京 北京近代科學圖書館 北京近代科學圖書館寄贈 昭和13年3月10日
- (348)『教育叢刊』 第2卷(1~2期) 國立中央大學教育學院編 民國23~24 南京 國立中央大學 國立中央大學寄贈 昭和13年3月14日
- (349)『氣象研究所集刊』 第1~6號 民國19~24 南京 國立中央大學 國立中央大學寄贈 昭和13年3月14日
- (350)『市政概要』 1冊 上海市九道政府秘書處編 上海 上海市九道政府秘書處 上海市九道政府秘書處寄贈 昭和13年6月24日
- (351)『中華民國交通部郵政總局郵政事務年報』 民國24年度 交通部郵政總

局編 民国 25 上海 交通部郵政総局 交通部郵政総局寄贈 昭和 13 年 7 月 2 日

(352) 『交通公報』 第 725～753 号 南京 交通部編審委員会 交通部編審委員会寄贈 昭和 14 年 8 月 8 日

以上列記した資料以外に、昭和 13 年 7 月から 17 年 3 月までの間に、中国からの資料寄贈とみられるものが 30 件あるが、寄贈者が具体的に示されていないので省略した。

- 注 1) 国立国会図書館所蔵漢籍の収集の経緯及びその内容の概要については、土屋紀義「国立国会図書館における漢籍の収集の沿革とその概要」(『参考書誌研究』第 39 号 1991 年 3 月 1～14 頁) 参照。
- 2) 呉汝綸の日本の教育事情視察の内容及びその近代中国教育史における意義については、汪婉『清末中国対日教育視察の研究』(汲古書院 1998 年 12 月)「第 2 部 第 6 章 張百熙の教育刷新と呉汝綸の渡日指命」に詳しい。なお、帝国図書館への資料寄贈者の来日の事情については、以下において、本書及び熊達雲『近代中国官民の日本視察』(成文堂 1998 年 8 月)によるところが大きい。
- 3) 「二十五日、早、闕大橋図書館。始大橋佐平、曾創立博文館、又用資本金二十万円設博進社。明治三十三年、議開図書館、出資金十万円・維持費二万五千元、甫経営而病死。其子曰新太郎、卒成其志。其閱覽室分男女、楼上可容百六十八人、楼下閱新聞報及新刊雜誌書、可容百人。現蔵和漢書三万冊、西書二千余冊、内国雜誌三千五百冊、外国雜誌五百冊、計三万六千余冊。毎日午前八時九時至四時五時開館。閱書者到門、購求覽券、乃得入。一次金三錢、若購十次者金二十四錢、求閱新報及雜誌新書者減半價。其所閱書於券内注名、還過即蓋館中印章、出門時繳此券。其查檢書目、送書取書、皆極速。章程甚善。余以尚書・及姚氏漢書平点・近著風土記三種贈之。」「東遊叢録」2、54～55 頁
- 4) 前掲『清末中国対日教育視察の研究』付録 (1)「清末中国対日視察者一覽表」10 頁、及び前掲『近代中国官民の日本視察』付録 2「清末民初における中国官民日本視察者のリスト」29 頁。毛春翔『古版本常談〔挿図増訂本〕』(上海古籍出版社 2002 年 7 月) 155 頁、『倉石武四郎中国留学記』(中華書局 2002 年 4 月) 164 頁。
- 5) 明治 29 年 1 月 23 日、日清役戦利図書が陸軍省から交付されたという

記録がある。(陶山国見「蔵書構成の実態調査及びその評価計画について」資料1 収書業務年表(明治8～昭和40 8・3) 2頁『図書館研究シリーズ』16 1974・12)

6) 「初五月戊子礼拝一、至帝国図書館一遊。図書館蔵中外新旧各書三十余万卷。内設閱書一区、大可容数百人、以便読者。就中研覧、有執事四五人、専司緋検収発之役。其中蔵中国古刻本多、及庚子一役、中国内庫秘籍為所得者、亦甚夥、每卷皆標目所自、目之黯然。是日匆々一覽、惜未能細意緋閱、致歉。臨行、司書者贈所蔵書日録一卷与聚叔。」

なお、『雲海東遊記』には「この日見た宋刻本は3種」とあるが、このうち『佛説妙吉祥最勝根本大教経』は原物確認によると、版本ではなく写本である。念のために記す。

7) 劉世珩に従って来日した凌文淵の『籥庵東遊日記』の序に「光緒二十九年癸卯春、貴池劉觀察聚卿師世珩以江楚兩大府派、赴日本、攷察大阪第五次内国勸業博覧会。」とある。

8) 「十三日丙子、霽、晨、再往上野公園東京音楽学校。(中略) 順道過帝国図書館、購券始入。閱書者絡繹、皆按底冊、別紙署名、取書隨閱隨繳。余亦檢宋版書數種、有陳暘樂書、楊万里作序、係徽宗時獻於朝者。又雜檢明版書數種、緋閱一過、即出。」

9) 前掲『清末中国対日教育視察の研究』、『近代中国官民の日本視察』それぞれの付録を参照。また方氏の日本紀行『瀛州観学記』(光緒29刊)の序に「光緒壬寅冬、奉建德中丞檄、自山東來日本、攷視学事、居東京兩閱月而行。癸卯二月、帰報於済南。又承命、挈五十余人、東渡遊学。五月出省。閏五月。復至東京、諸生既入学、長日得暇、因取旧遊所見聞者、綴輯編録之。(下略)」とある。

10) 前注に引く『瀛州観学記』序による。

11) この点については、汪婉、前掲書89頁注80参照。

12) 汪婉、前掲書124～125頁による。

13) 「先生此書、(中略) 紹箕幸與校字之役、既卒業。竊喜、自此以後、孤學旧文、盡人通曉。亦孫淵如先生所云、不覺僭而識其末。黄紹箕謹跋。」

14) 汪婉、前掲書附録1、28頁、熊達雲、前掲書附録2、44頁

15) 「光緒二十五年己亥。(中略) 先生在家講學。学生五人、為先生長子伯元、次子仲雍、嫡堂弟由甫遵庚(下略)」、「黄公度先生年譜」(『人境廬詩草箋注』上海 古典出版社 1957) 63頁 「光緒三十年甲辰。(中略)

派門人楊惟徽五・從堂姪之駿二人、往日本習速成師範、準備任東山師範學堂教師。同時資助嫡堂弟由甫、並派四子季偉・長孫延豫、往日本留学」(同上) 76頁

16) 「未生」は龔宝銓の字。龔宝銓及び本資料については、国立国会図書館編『稀本あれこれ』出版ニュース社 1994・5 48～49頁「秋女士詞・秋女士遺詩」の項を見よ。

17) 汪婉、前掲書、附録1、9頁

(つちや のりよし 調査及び立法考査局文教科学技術調査室)